

水

の

童

かわのわっぱ



平成30年7月豪雨災害復興支援事業
デフ・パペットシアター・ひとみ

令和元年 **9.21** [土]
開場 13:30 / 開演 14:00

倉敷市芸文館 アイシアター

倉敷市中央1丁目18番1号 TEL.086-434-0400

●JR倉敷駅(山陽本線)から徒歩15分 ●バス中央2丁目下車すぐ

全席自由

一般2,000円 大学生以下1,000円

(当日各500円増) ※3歳未満は上無料(座席が必要な場合は要チケット)

■ご予約・お問合せ

アルスクらしきチケットセンター

TEL.086-434-0010

(営業時間9:00~17:00 土・日・祝日は休み)

インターネット予約 <https://arsk.jp/>

■チケット取扱・プレイガイド

倉敷市芸文館、インディスク(天満屋倉敷店4F)

■チケット発売日

【会員先行】2019年6月11日(火)

【一般発売】2019年6月13日(木)

あらすじ

河童は、のんびり、平和にくらしています。井戸は自分の井戸で、鯉やゲンゴロウ、蟹なんかと一緒に、ゆったりゆらゆら。水はキラキラ輝いて、世界は、そこにすべてがあります。足りないものなんてどこにもなくて。にんげんに会って、攻撃されたりするので、なるべく会わないようにしています。でもにんげんの小さいの、こどもと遊ぶのは大好きなので、たまに相手をしてやります。村に雨が降らなくなったある時、突然にんげんたちは、それを河童のたたりだと考えて…。河童とこどもたち、そしてある少女との交流、おとなになったにんげん達と河童をめぐる物語。

河の童

河童といえば、日本人にとっても親しみのある「あやかし」ではないでしょうか。ときには、川に馬や人間をひきずりこむといういたづらな存在として、また、ときには畏れ敬われる、神様のようにも描かれています。地域によってもさまざまな伝説や言い伝えとして、受け継がれてきました。今回デフ・パペットでは、河童と人間のすれ違いや、河童にとっての大切な世界を丁寧に描いて、異なる世界に生きている河童と人間に焦点をあて「共に生きるとは」その本質に迫ります。「デフ・パペットシアター・ひとみ」だからこそ出来る表現の可能性に迫りました。ぜひご期待ください。

出演 デフ・パペットシアター・ひとみ
デフ・パペットシアター・ひとみはろう会
(deaf)と聴者が共に制作~公演活動を行う
人形劇団です。「ひよっこりひよっようたん鳥」で
おなじみの人形劇団ひとみ座を母体に
1980年に結成しました。
「すべての人に人形劇を」のコンセプトのもと、
年齢や性別、母語、宗教の違いや身体
ハンディを超えて、すべての人が共に楽しめる
人形劇の創作、公演活動を続けています。

主催/倉敷市・公益財団法人現代人形劇センター・倉敷市文化振興財団

共催/倉敷市教育委員会

原作/火野葦平「河童曼陀羅」

スタッフ/脚本・演出 立山ひろみ/人形美術 本川東洋子/舞台美術・衣装デザイン 大島広子/作曲 佐藤望/振付 向雲太郎/照明 後藤義夫/舞台監督 榎本トオル

後援/(一財)全日本ろうあ連盟/NPO法人日本ウニマ(国際人形劇連盟日本センター)

企画制作/(公財)現代人形劇センター

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



アルスクらしき

